

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第5区分
 【発行日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【公開番号】特開2006-2295(P2006-2295A)
 【公開日】平成18年1月5日(2006.1.5)
 【年通号数】公開・登録公報2006-001
 【出願番号】特願2004-180838(P2004-180838)
 【国際特許分類】

D 0 6 C 7/00 (2006.01)
D 0 3 D 1/00 (2006.01)
D 0 3 D 15/00 (2006.01)
D 0 3 D 15/12 (2006.01)
D 0 6 C 15/14 (2006.01)

【F I】

D 0 6 C 7/00 A
 D 0 3 D 1/00 A
 D 0 3 D 15/00 D
 D 0 3 D 15/00 G
 D 0 3 D 15/12 Z
 D 0 6 C 15/14

【手続補正書】
 【提出日】平成19年5月28日(2007.5.28)
 【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも緯糸が、強化繊維のマルチフィラメント系からなり、同緯糸に沿って織度110d tex以上の熱融着繊維が配置された織物を、該熱融着繊維の融点未満の温度下で開織した後、引き続き連続して熱融着繊維の融点温度以上の温度で熱処理して、同熱融着繊維を強化繊維へ融着する強化繊維織物の製造方法であって、

前記開織の方法が、前記織物を、鋼板と、同鋼板に平行な平面内に配列した複数の鋼球との間を走行させると共に、前記鋼球を前記鋼板に対して直交方向に振動させて前記鋼球で叩打する方法であり、

さらに前記鋼板と同鋼板に平行な平面内に配列した複数の鋼球との間に、熱融着繊維の融点未満の温度を有する熱風を吹き込む、強化繊維織物の製造方法。

【手続補正2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】発明の名称
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【発明の名称】強化繊維織物の製造方法

【手続補正3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0006
 【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記課題に対し、強化繊維織物を容易に開織して目開きの少ない強化繊維織物を製造せしめるものであり、少なくとも緯糸が、強化繊維のマルチフィラメント系からなり、同緯糸に沿って織度110d tex以上の熱融着繊維が配置された織物を、該熱融着繊維の融点未満の温度下で開織した後、引き続き連続して熱融着繊維の融点温度以上の温度で熱処理して、同熱融着繊維を強化繊維へ融着する強化繊維織物の製造方法であって、前記開織の方法が、前記織物を、鋼板と、同鋼板に平行な平面内に配列した複数の鋼球との間を走行させると共に、前記鋼球を前記鋼板に対して直交方向に振動させて前記鋼球で叩打する方法であり、さらに前記鋼板と同鋼板に平行な平面内に配列した複数の鋼球との間に、熱融着繊維の融点未満の温度を有する熱風を吹き込む、強化繊維織物の製造方法をその要旨とする。その基本的構成は以下の通りである。